

ワシントン大学での授業とホームステイ、シアトルでの生活について

札幌校 総合学習開発専攻

3年 小森 袈乃子

・ワシントン大学での体験

シアトルに到着してから3日目から登校しました。大学へは、私の場合ホームステイ先の家からバスで30分ほど、大学の敷地は広くいくつもの建物があるために、大学内でもバス停が複数あり、初日は地図と景色を照らし合わせながらの登校でした。初めにガイダンスと、クラスをわけるテストが行われます。テストはリスニング、筆記、面接、クラスは3種類ありました。テスト自体はそれほど難しくはなく、クラスわけについてもクラスによって授業内容が異なるわけではなかったようです。

その次の日からはいよいよ授業が始まりました。クラスは8割ほどが日本人、あとは台湾・ロシアの方がいらっしゃいました。授業内容は、映画を英語でみて、その内容から設定されたテーマについてクラスメートで話し合う、というのが基本でした。授業中は全員もちろん英語を使わなければなりません。会話の中では高度な文法や単語を使う場面はほとんどありませんでしたが、日本語を頭の中で訳して正確な文法を考えながら話すことよりも、日本語を考えず英語として英語に返す、という力が求められました。プログラム後半になってくると少しでもこの力はつくかと思えます。また、これを通して他の国の方の文化や考え方も聞くことができました。

最後の授業では、事前にグループで行う調査の結果を用いてプレゼンテーションを行いました。事前の調査というのは、グループごとにテーマを自由に選び、ワシントン大学の学生やシアトルの人々にインタビューするというものです。私たちのグループはテーマとして「大麻の使用について」を選びました。シアトルがあるワシントン州では近年大麻の使用が合法になったということで、シアトルの学生はどう思っているのか知りたかったためです。テーマはグループによって「シアトルのコーヒーショップについて」、「(シアトルでの)結婚観」など様々でした。プログラムに参加する前にシアトルの人々からどのようなことを聞きたいか、事前に調べたり考えたりしておくと思えば役立つかもかもしれません。

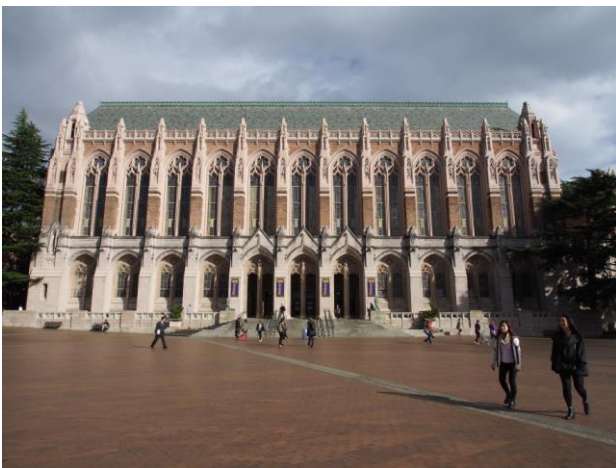


(写真：プログラムの最後には修了式のようなセレモニーもありました。)

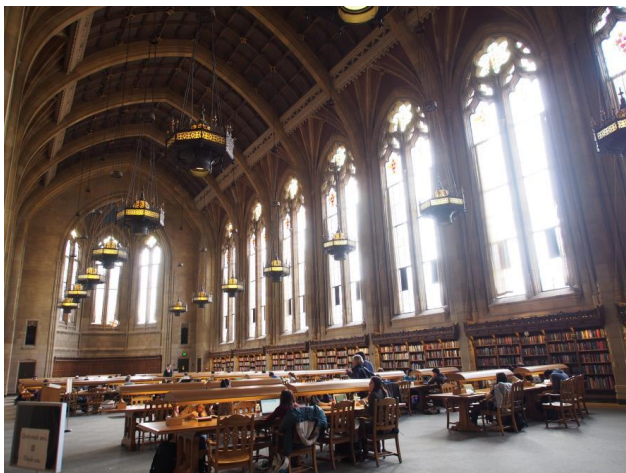
・放課後

授業は午前中のみ、午後の放課後は自由時間でした。週に 2 日、用意されたプログラムがあります。プログラムではシアトルの観光地について観光・買い物ができます。参加は自由でしたので他に行きたいところがある場合はそちらに行っていました。大学内は先述の通り大変広く、図書館がたくさんあったため日本の本を探してみたり、たくさんある飲食店でお昼ごはんを食べたり、本や大学のグッズがたくさん売っている大学生協 (university book store) で買い物をしたりと、大学周辺だけでもなかなか楽しむことができます。他にシアトルの中でいった場所は、ダウンタウン、スペースニードル、動物園です。シアトルはカフェがたくさんあるので、カフェにも何度か行きました。

買い物を通して店員と会話することも大変勉強になりました。また、道に迷った時、わからないことがあった時、自分から積極的に周りの人に尋ねることを心掛けていましたが、大変勉強になりました。日本では道行く人に声をかけて道を尋ねることはなかなか勇気があることと思いますが、このプログラムでは恥ずかしがって聞けないまましていると損だと思いました。



(写真：ワシントン大学にある図書館の 1 つです。この辺りで一番目立つ建物です。)



(写真：図書館内はまるで映画セットのようでした。)



(写真：シアトルはスターバックス発祥地とのことでコーヒーを注文しました。)

・ホームステイについて

最後にホームステイについてですが、私がホームステイさせていただいたご家庭は、一人暮らしの60代くらいの女性でした。彼女はとても親切で、私を本当の家族のようにあつかってくれました。個室をかしてもらい、そこにはベッド、机、タンスがあり、快適でした。家に帰ると食事をつくってくれ、夜は一緒にテレビを見ました。ホストマザーはおしゃべりが好きで、テレビを観ながらいろいろなこととお話ししてくれました。そのおかげでテレビの内容も大体どのようなことかわかるようになりました。週末は近くのショッピングセンターに連れて行ってくれたり、お孫さんが遊びに来たりとホストファミリーと一緒にとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。ホームステイを通して文化や生活スタイルを知ることができてとても勉強になりました。



(写真：ホームステイ先のお家です。)

・最後に

このプログラムを通して、ここには書ききれないほど貴重な体験・勉強をすることができました。たった3週間でしたが、日本で英語を勉強しているだけでは得られなかった、豊かな実りを得ることができたと思います。